

## 「基本計画の進捗状況の把握・分析」の今後の進め方

令和4年10月31日

評価専門調査会

1. 令和3年度は、第6期科学技術・イノベーション基本計画中の11の中目標のうち、「多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築（研究環境の再構築）」を対象に、ロジックチャートと主要指標等の変化に基づく分析を試行的に実施したところ。
2. この過程でロジックチャートの整理、主要指標等の貼り付けについては一定の実績が得られたことを踏まえ、残りの10の中目標については事務局においてロジックチャートを整理した上で主要指標等をアップデートしつつフォローを行い、適宜事務局より評価専門調査会にその状況を報告することとする。
3. そのうえで、令和4年度から令和5年度にかけ、2～4のテーマをピックアップし、先行する基本計画等を参照して政策的背景や課題設定等を振り返りつつ、また、その対象の中目標に連動している政策パッケージのフォローアップと組み合わせて、評価専門調査会においてさらなる深掘りの分析を行うこととする。
4. 一方で、ロジックチャートを活用したフォローについては、①主要指標等にかかるデータがリアルタイムで取得できないこと、及び、②政策効果が出るまでには相応のタイムラグがあること、の2つの構造的な遅延が存在していることから、リアルタイムでの状況把握には限界がある。
5. このため、深掘り分析においては、政策パッケージに登録されている施策・事業の進捗状況を担当府省等からヒアリングすることにより、リアルタイム性を補完することとする。